久瑠あさ美の
奇跡のビジョン

その時の Vol.02 “気持ち”ひとつで未来が動く

くる・あさみ
トップアスリートや経営者、ビジネスパーソン向けに、個人メンタルトレーニングを行う傍ら、リーダー研修や講演会など、活動は多岐にわたる

「勘違いの才能」こそが大きく飛躍する力を生む

前例がないからこそ潜在能力を発揮できる

昨年から今年にかけて、若手女子の台頭を強く感じます。昨年4月にヤマハレディースオープンでツアー初勝利を挙げた比嘉真美子選手（20歳）は、全英リコー女子オープンでも7位タイの好成績をおさめました。今年3月30日、アクサレディスゴルフトーナメントでプロ初優勝した渡邉彩香選手も20歳。4月には、さらなる事件が起きました。高校生の勝みなみ選手がツアー史上最年少優勝の記録（15歳293日）を更新。確実に、新しい世代の波が押し寄せてきている感があります。

彼女たちとベテラン選手の違いはなんでしょうか。

それは経験があるか無いかということ。「自分は成功できる」という確固たる自信に、経験や根拠は必要ありません。経験がないからこそ、自信を持つことができるのです。逆に、自信をつけようとするから、肝心な瞬間に揺らいでしまうのです。根拠のある自信は、それが覆った瞬間、消えてなくなります。「根拠のない自信」こそ潜在的な力を発揮させてくれるのです。

恐れを知らず自信たっぷりにプレーをしている若手女子選手たちは、人間の潜在能力をフルに発揮しています。

「そんなの単なる勘違いじゃないか」という意見もあります。

そうです、勘違いなんです。ただ、ここでいう〝勘違い〟はネガティブなものではありません。潜在能力を発揮するための前向きで素晴らしい才能です。

ベテランであるほど、経験から「また失敗するかも……」といったネガティブな感情を持ってしまいがちです。そういった過去の経験がプレーの邪魔をするのです。ところが新人女子たちは何をやっても許される、何をやってもうまくいくという希有な状況にあり、自分のやりたいようにプレーができており、余計なプレッシャーなどにも気づきません。そんなとき、「勘違いの才能」は発揮されます。

これが「勘違いの才能」です。失敗を知らないことほど強いことはありません。新世代にとっての何よりの武器は「根拠のない自信」です。未来において曇りないマインドで挑むことのできるこの「勘違いの才能」は、経験のない者の特権でさえあります。人間は経験の中で、学ぶことも、もちろん多い。けれど、この勘違いの才能を磨くことが、未知の能力を発揮する最大の武器になりうるのです。

次号では「勘違いの才能」についてさらに掘り下げてみます。

この流れはこれからも、まだ続きそう!?

トーナメントシーンを騒がせる若手たちは、さまざまな障壁をものともせず、まさに縦横無尽にツアーという世界を飛び回っている

未来が動く 今月のひとこと

過去の自分に囚われることなく未来を信じることで「いま」を越える

Hole by Hole

ネガティブ思考がミスを呼ぶ

たとえばティショットで右のOBが浅いホールがあるとする。過去に右へOBを打った経験がある人は、左にミスをしてしまうケースが多い。また、よく池に入れてしまう人は池越えが苦手なケースが多い反面、まったく池が目に入らないタイプの人もいる。ネガティブな考えというものは、直接、体の動きに影響を与えてしまうことが多い、というのは、誰もが経験しているはず。経験に基づく知識や解決法というものは確かにあるが、それ以前に、失敗経験がないというのは、ある意味、強みでもある。

写真／千川修　イラスト／須山奈津樹　ヘアメイク／越智めぐみ（volonte/ALFALAN）　撮影協力／神山離宮